

農作物病害虫発生現況情報（5月） ねぎ編

1 さび病

(1) 5月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（図1）。

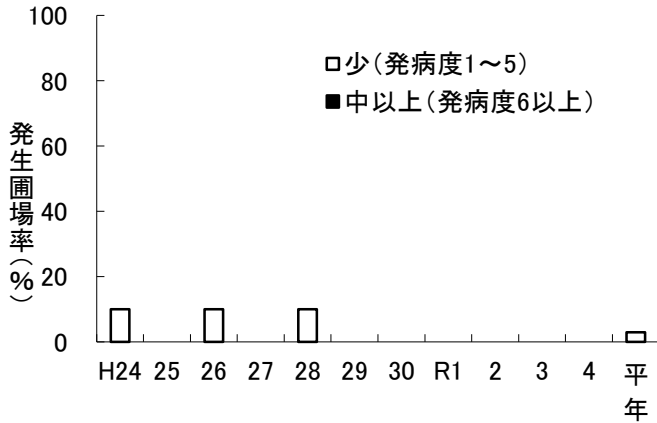


図1 さび病の発生圃場率の年次推移 (5月下旬・発病度)

2 べと病

(1) 5月下旬の巡回調査では、発生が確認されなかった。

3 ネギコガ

(1) 5月下旬の巡回調査では、発生圃場率は12.5%（平年29.1%）であり、平年よりもやや低かった（図2）。

(2) 被害葉は5月下旬に確認された（図3）。

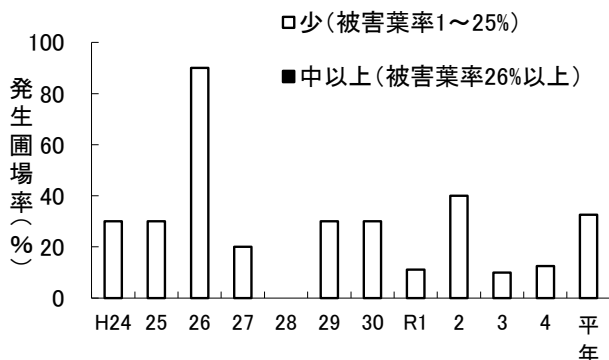


図2 ネギコガの発生圃場率の年次推移 (5月下旬)

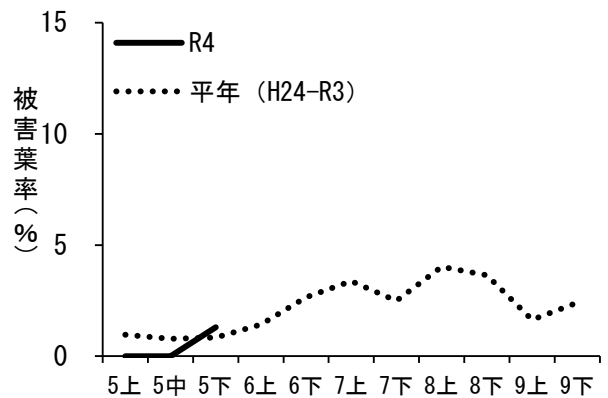


図3 ネギコガによる被害葉率の時期別推移

4 ネギハモグリバエ

(1) 5月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年12.1%）（図4、5）。

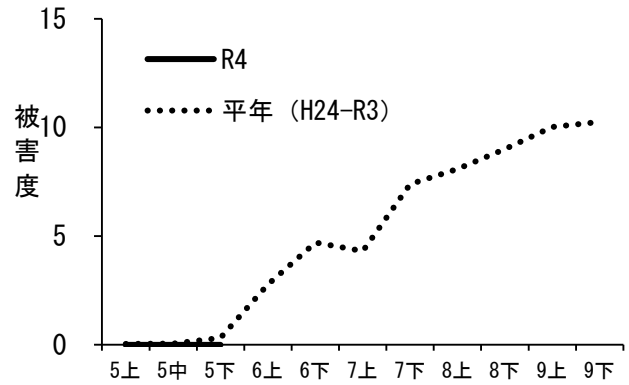
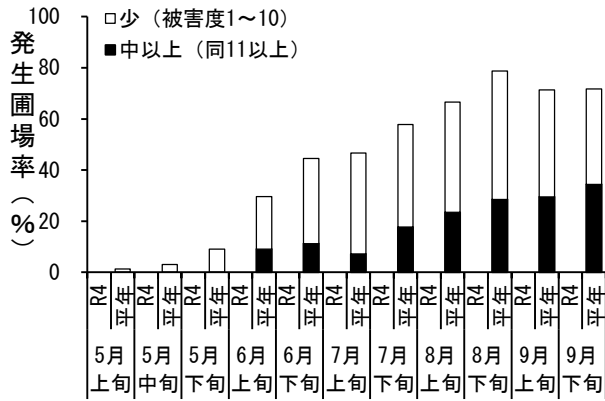


図4 ネギハモグリバエの発生圃場率の時期別推移

図5 ネギハモグリバエによる被害度の時期別推移

【被害度】調査株の被害程度を甚・多・中・少・無の5段階で評価し、次式により算出

$$\text{被害度} = \frac{(\text{甚の株数} \times 4 + \text{多の株数} \times 3 + \text{中の株数} \times 2 + \text{少の株数})}{(\text{調査株数} \times 4)} \times 100$$

5 ネギアザミウマ

(1) 5月下旬の巡回調査では、発生圃場率は50.0%（平年60.1%）であり、平年よりもやや低かった（図6）。

(2) 5月下旬の被害度は、平年よりも低かった（図7）。

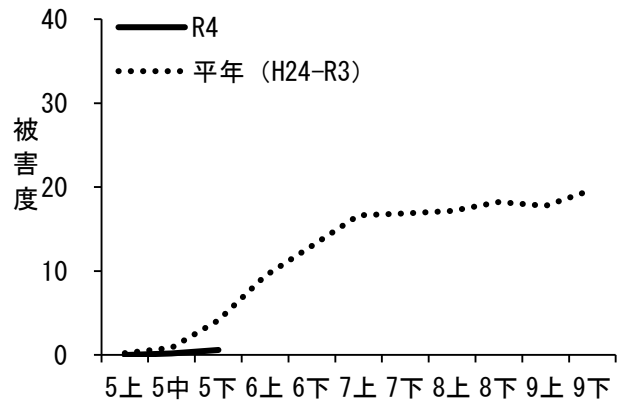
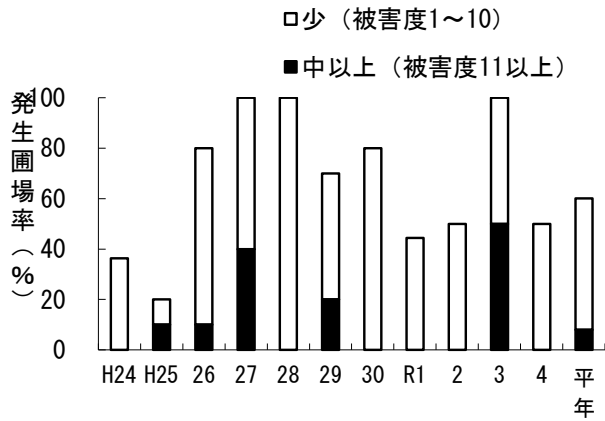


図6 ネギアザミウマの発生圃場率の時期別推移

図7 ネギアザミウマによる被害度の時期別推移
※被害度の計算方法はネギハモグリバエと同様